

会議記録

会議名	平成27年度 第1回 杉並区文化・芸術振興審議会
日時	平成27年7月23日(木) 午後6時00分～午後7時18分
場所	杉並区役所 西棟6階第5・6会議室
出席者	[委員] 曾田、石澤、佐藤、田邊、並河、花柳、須磨、谷原 [区] 区民生活部長 地域活性化担当部長) 文化・交流課長 [事務局] 文化・交流課
欠席者	寺田、内山、志村
配布資料	[事前送付資料] 資料1 杉並区文化・芸術振興審議会委員名簿 資料2 平成27年度第1回杉並区文化・芸術振興審議会席次表 資料3-1 杉並区文化芸術活動助成事業について 資料3-2 平成26年度杉並区文化芸術活動助成金一覧 資料3-3 平成27年度(第1次)杉並区文化芸術活動助成金一覧 資料4 杉並ゆかりの文化人～アーカイブ映像集について 資料5 すぎなみ戦略的アートプロジェクト「S u g i n a m i A R T @ h e A r t」事業概要 参考 「総合計画・実行計画」 参考 「ラビンドラ・ダンスの世界展」チラシ
会議次第	[議事] 1 開会 2 報告事項 (1) 文化芸術活動助成事業について(資料3-1～3) (2) 杉並ゆかりの文化人～アーカイブ映像集について(資料4) (3) 協働提案事業について(資料5) 3 その他
主な発言	別紙のとおり

発言者	発言内容
	－ 開会 －
	1 開会
文化・交流課長	<p>定刻になりましたので、平成 27 年度第 1 回杉並区文化・芸術振興審議会を開催いたします。</p> <p>平成 27 年度に杉並区で組織改正があり、新たに、区民生活部の中に地域活性化担当部長という組織を設けましたので、今回から区民生活部長のほか、地域活性化担当部長も出席をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは審議会の開催にあたり、2 人の部長の紹介と、一言ずつご挨拶をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
地域活性化担当部長	<p>地域活性化担当部長の有坂といいます。</p> <p>この 4 月に新たな部署が設けられました。人口減少社会の中で、地域を活性化し、人口減少をなんとか食い止めたい。これは地方だけの問題でなく、都市部も当事者意識を持って臨んでいくという部署でございます。</p> <p>文化・芸術は、地域活性化する源でございますので、よろしくご審議のほどお願いしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。</p>
区民生活部長	<p>区民生活部長の井口と申します。これまで教育委員会、それから環境の部長と拝命させていただいてまいりました。</p> <p>今、有坂からも申し上げたとおり、区民生活部は今年課題山積でございます。有坂と二人三脚でそれぞれの課題に取り組むことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>それでは皆様お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>今年度第 1 回ということ、また担当の部長お二方も初めてご出席されるということで、自己紹介をしていただければと思います。</p> <p>まず私からですが、跡見学園女子大学の曾田と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
委員	<p>演出と劇作をしています佐藤です。それから、杉並芸術会館「座・高円寺」の芸術監督をやらせていただいております。よろしくお願い申し上げます。</p>
委員	<p>学校現場で杉並区の学校地域コーディネーターをしております、谷原と申します。よろしくお願い申し上げます。</p>
委員	<p>杉並区文化団体連合会の会長を務めております、花柳琢兵衛です。よろしくどうぞお願いいたします。</p>
委員	<p>NPO 芸術資源開発機構の並河と申します。よろしくお願い申し上げます。</p>
委員	<p>日本フィルハーモニー交響楽団、元コントラバス奏者の田邊です。</p>
委員	<p>放送業に携わっております。現在は NHK のラジオ深夜便の担当で、ア</p>

	ンカーをしております、須磨でございます。よろしくお願いいたします。
委員	石澤と申します。文化協会のころからずっと、主に演劇を担当させていただいております。どうぞよろしく。
会長	では、議事に入らせていただきますが、事務局から何かございましたらお願いいたします。
文化・交流課長	<p>まず欠席者ですが、現在2名の方々からご連絡をいただいております。また、ご連絡はいただいておりますが、志村委員がまだいらしていないという状況です。</p> <p>続いて、資料の確認をさせていただきます。次第の下段に配布資料として記載をしてありますが、それをご覧いただきながらご確認ください。</p> <p>まず資料1として、杉並区文化・芸術振興審議会の委員名簿。資料2、平成27年度第1回杉並区文化・芸術振興審議会席次表。資料3-1、杉並区文化芸術活動助成事業について。資料3-2、平成26年度文化芸術活動助成金一覧。資料3-3、平成27年度（第1次）杉並区文化芸術活動助成金一覧。資料4、杉並ゆかりの文化人～アーカイブ映像集について。資料5、すぎなみ戦略的アートプロジェクト「Suginami ART @heArt」事業概要。</p> <p>参考資料といたしまして、杉並区総合計画・実行計画の抜粋。「ラビンドラ・ダンスの世界展」のチラシを配付してございます。</p> <p>もしないようでしたら、お知らせください。</p>
会長	資料の確認ということで、ご確認をいただいたかと思えます。次の項目をお願いいたします。
	2 報告事項
	(1) 文化芸術活動助成事業について（資料3-1～3-3）
文化・交流課長	<p>それでは、資料3-1から3をご覧ください。</p> <p>杉並区文化芸術活動助成事業についてですが、昨年度、平成26年度の文化芸術活動助成事業の助成件数は合計で22件ありました。前年25年度の18件から、少しずつ件数が伸びております。内訳といたしましては、文化・芸術活動助成が19件、企画提案事業が1件、大会参加が2件でした。</p> <p>具体的な内容については、資料3-2をご覧ください。助成事業22件の具体的な事業名、団体名等、申請額が記載されております。助成金額は、総額で845万6,000円。前年度が803万円でした。こちらも件数同様少し伸びているという状況です。</p> <p>続きまして、平成27年度第1次杉並区文化芸術活動助成事業についてですが、第1次としての助成件数は13件です。内訳としまして、文化・芸術活動助成が12件。申請は15件ありましたが、その後審査で、12件となりました。企画提案事業は、申請件数は4件ありましたが、審査の上、1件に絞り込みました。大会参加は、現在まだ申請はありません。</p> <p>助成金額は、資料3-3をご覧ください。平成27年度の第1次の助成</p>

	<p>活動事業の一覧です。</p> <p>続いて第2次の募集についてです。この助成事業は、年度を第1次と第2次に分けて募集をしています。第1次は、昨年の12月に募集を開始し、年度末に決定をいたしました。現在は、今年の10月から来年3月に実施される事業の第2次募集を進めています。文化芸術活動助成事業、5事業程度の決定を予定しております。助成金額は、上限100万円、予算枠としては合計で250万円です。</p> <p>今後のスケジュールですが、8月下旬から9月に、審議会の部会で審査、決定をします。助成事業と決定した事業には、区の職員がモニタリングを実施しています。</p> <p>助成事業については、以上です。</p>
会長	<p>次第の2番、報告事項の(1)助成事業について、資料の3-1から3をもとにご説明をいただいたところですが、何かご質問はございますか。</p> <p>私から1件、資料の3-2で一番右側の欄で網がけになっているところは、決定額よりも確定額が少なかったということですね。</p>
文化・交流課長	<p>そうです。</p>
会長	<p>何か委員の方から、ご質問などございますか。</p>
委員	<p>助成事業は全て、中央線の沿線だけですね。杉並区全体からの応募はないものかなと思います。3-3の裏の「場所」を見ると、実質的にほとんどが中央線沿線のごく限られた地域に固まっていて、すごく残念です。せっかくいい事業なのに広がらないのはなぜでしょう。応募そのものがない、知っている人が少ないということでしょうか。</p>
文化・交流課長	<p>募集に特に要件をつけているわけではありませんが、確かに結果として事業が、中央線沿線の会場に偏っています。推測ですが、中央線沿線に大きなホールが集まっているのが要因だと思います。小さな区民会館等は各地域にありますが、助成事業として応募してくる団体の活動場所としては、やはり公会堂であったりセッションであったり座・高円寺であったりと、少し大規模な施設が多く、それが中央線沿線に偏っているためではないかと思います。</p>
会長	<p>現状は現状として、今後の振興策ということでは大変貴重なご意見かと思いますが、ありがとうございました。</p> <p>ほかに何かお気づきの点はありますか。</p> <p>今の3-3の裏側で網がけになっているのは、これはもう実施された事業ということですね。</p>
文化・交流課長	<p>そうです。</p>
会長	<p>では、続きまして次の項目に移ります。</p>
	<p>(2)文化人～アーカイブ映像集について(資料4)</p>
会長	<p>報告事項(2)文化人アーカイブ事業について、ご説明をお願いいたします。</p>

それでは、資料4をご覧ください。

文化人アーカイブ事業は、既に何度か審議会でご報告しておりますが、改めて一昨年度、昨年度、そして今年度のアーカイブ事業についてご説明をさせていただきます。

まず事業の目的ですが、杉並にゆかりある文化人・芸術家に焦点をあて、その人となり、杉並の町との関わり等を映像にまとめ、杉並区の貴重な文化財産として保存する、区内外の文化芸術の魅力、杉並の文化的な魅力を効果的に伝え、発信力の高い映像作品を制作していくということです。

平成25年度の実績は、洋画家の佐野ぬいさん、木彫家の橋本堅太郎さんの2件、平成26年度は、染色家の佐々木苑子さん、スペイン舞踊家の小松原庸子さん、小説家のねじめ正一さんを制作しました。今年度、27年度の出演者は、クラシックギター演奏者の荘村清志さん、アニメ監督の大地丙太郎さん、女優の渡辺美佐子さんに承諾をいただいて、現在制作を進めています。

続いて、制作映像コンテンツですが、まず短編作品として15分の長編作品のダイジェスト版、長編作品として45分程度のインタビューを中心とした半生と作品の記録、特典映像として、1分の宣伝映像、杉並のマップとして、文化人にゆかりのある杉並の場所を地図にまとめたものを、制作しています。

制作委託先は、1作目から同じ株式会社文化工房に委託をしています。

平成25年度の委託費は2作品、465万1,500円です。平成26年度は、3作品の制作で699万8,400円、今年度は、3作品、712万8,000円です。

今年度の主な制作の変更点として、長編作品を45分以内にまとめることにしました。学校の授業、特に小学校の授業時間の45分以内に収めることで、教材として活用しやすいようにしました。また、これまで別契約となっていた、PRのために使用する、MXテレビ用データ変換作業も今回1つにまとめましたので、27年度は金額が高くなっております。

保存・発信についてですが、もっと多くの皆さんに見ていただくため、色々働きかけをしました。例えば、女子美術大学での佐野さんのトークイベントを実施した際に作品と一緒に上映する、J-COMニュースの中で紹介映像の発信と貸し出しの宣伝をする、紹介のチラシを制作し区民センターほか24か所で配布する、区の広報紙や文化・芸術情報紙「コミュかる」で紹介記事の掲載をする、MXテレビで5月、8月、11月にこの作品を放送する、など行いました。

他にも、杉並第七小学校では、ねじめ正一さんがご自身の作品を使って、直接授業を行うことも予定しております。

また、群馬県立近代美術館での「佐々木苑子展」では、ご本人からの依頼もありまして、この美術館で作品を上映いたしました。

こういったコンテンツを作った後、どのように発信していくべきなのかということは、審議会でもご意見をいただいておりますが、色々な手段

	<p>を使ったPRに努めてまいりました。今後も更に発信を強めていきたいと思っております。</p> <p>それでは最後に、昨年度制作をいたしましたねじめ正一さんの15分版のDVDをご覧いただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
	(DVD放映)
会長	<p>それでは、アーカイブ事業のご報告でしたが、何かご感想、ご質問はありますか。</p> <p>ホームページのアクセス数というものがあるようですがいかがですか。</p>
文化・交流課長	4月から7月までのホームページのアクセス件数は、現在1,118件です。
会長	反応、反響というのは何か集めていますか。
文化・交流課長	議会で、実際見られた議員の方から、このねじめ正一さんの作品にかかわらずおもしろいと言っていただきました。
会長	ホームページのアクセス数というのは、映像が再生されているということですか。それとも、情報としてアクセスがあった、ということですか？
事務局	再生までのアクセス数は確認がとれないので何とも言えません。区ホームページ上に掲載しているアーカイブへのアクセス件数です。
会長	どなたか感想、その他ございますか。
委員	前回2作品見せていただきましたが、今回は追加の分ですね。1枚のDVDに全部収録されたものが、各学校には配布されているということですか。
文化・交流課長	いいえ。個人ごとに分かれた形で作られています。
委員	なるほど。それぞれでDVDになっているのですね。わかりました。
会長	区外からの反響はないのですか。
事務局	区ホームページで視聴できるようになっていますが、わざわざ横浜から借りに来られた方がいらっしゃるなど、区外からも反響があります。
会長	コンクールや賞など、そういうものへの出品はないのですか。
事務局	今、制作会社の文化工房と相談しまして、映文連アワード2015に佐々木苑子先生のDVDを出しているところです。8月までに審査を終えて9月から10月に発表の予定なので、経過を見ているといったところです。
会長	それは、何が対象になっている賞なのですか。
事務局	文部科学省等が後援しているものになります。
会長	行政がつくっている、まちづくり等が対象ですか。
事務局	いえ、民間団体も含めているものになります。
会長	そうですか。わかりました。アーカイブということなのですか。どういう種類のコンクールなのでしょう。
事務局	教育、ドキュメンタリー系など様々なものを含みます。
会長	<p>なるほど。わかりました。</p> <p>よろしいでしょうか。皆さんのほうからほかにごございますか。</p>

	(3) 協働提案事業について (資料5)
会長	では、次のご報告ということで、(3) 協働提案事業についてお願いします。
文化・交流課長	<p>報告事項3の協働提案事業について、ご説明をいたします。まず、資料5をご覧ください。</p> <p>昨年度、杉並区の協働提案制度に提案し、選択されたもので、今年度から実施をしております。まず「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」の事業概要につきましては、この記載のとおりです。ここでいうアートプロジェクトの、この事業で考える「アート」というものをまず定義をしております。アートといってもかなり広い分野になりますので、ここでは「感情に訴える創作」をアートの広義として、より多くの可能性を見出すために詳細の設定をあえて行わない方針で事業を実施していきます。ただし、こちらに書いてある3点についてはアートに含みません。</p> <p>本事業の対象者ですが、杉並区の在住、在勤、在学の方、杉並区出身の方、それから杉並区内に拠点を持っている方です。</p> <p>続いて、初年度の主な事業ですが、まず「まちなかギャラリー」として、ギャラリーの発掘、情報収集、発信を行います。通常の絵画のギャラリー、カフェ、民間の社屋の一角、店舗の壁面等、ギャラリーとして使えるところを発掘し、収集をしていくのですが、新たなギャラリーを発掘、確認をするために有償サポーターの募集もしております。「まちなかギャラリー」は、今年の秋に、試行的に集めた情報で実施を予定しております。この「まちなかギャラリー」の事業に参加していただくアーティストも募集しており、現在30名のアーティストに登録をいただいております。「まちなかギャラリー」は、現在15件の登録があり、別途15件が審査中です。また、事業を支えていただくサポーターは、現在15名以上の方に応募をいただいております。区とNPO法人、アーティスト、サポーターと協働で、情報の収集、マップの作成を行い、紹介していきます。</p> <p>この事業は、協働提案ですので、今年度実施をした内容を協働提案の審査会に報告をします。審査、モニタリングを受けた後、それが評価をされれば、次年度以降も実施をしていくということになっております。</p> <p>簡単ですが、以上です。</p>
会長	<p>資料の5をもとにご説明がありましたが、これについて何かご質問、ご感想、その他ありますでしょうか。</p> <p>募集が6月1日から始まっていますが、先ほどご紹介のあった件数が既に集まりつつあるということですね。</p>
文化・交流課長	<p>はい。募集をして1回目の説明会までは、それほど多くの参加はみられないのではないかと考えていましたが、最初の説明会では用意した席が足りなくなるほど、多くの方に参加をいただきました。杉並区には、文化芸術に関心のある方、アーティストも多いとは思ってはいましたが、実際に募集した時にこれほど多くの方のいらっしゃるとは思いませんでした。</p>

	た。改めて区内にはこういった活動をされている方、また、興味がある方が多いというのを実感しました。
会長	この事業を、外部のメディアが取材してPRしてくれるというのは、いつ頃からになるのですか。
事務局	J-COMのニュースですとか、東京新聞の方が支援、参加してくださっており、今ちょうど取材をさせていただいているというところです。
会長	成果として出始めるのは、どういうタイミングでしょうか。
文化・交流課長	現在、企画をして情報収集をしているという状況ですが、「アートウォーク」については秋に試行して、実施をしていきます。また、マップの中にギャラリーを落とし込み、周知をしていきますので、秋口以降その評価というのが出てくるとは思います。
会長	皆様いかがでしょうか。
委員	公募とか、色々な情報というのは、どこにコンタクトしたらわかるのですか。
事務局	現時点では協働相手のTFFというNPO法人のホームページに、色々な募集の状況や申込用紙など掲載しています。
会長	一番後ろ、16 ページに実施スケジュールは出ていますね。ウェブサイト公開、マップ・パスポート発行で、アートウォークが11月にあるということですね。 第2回の審議会の開催は、いつになりますか。
事務局	12月を予定しています。
会長	ということは、結果が大体出ているということですね。
委員	私の家の周りにも結構私設ギャラリーがありますが、日ごろは閉じています。もったいないな、こういうところが、もっと活用されればいいなと思うのですが、協働提案事業は本人が提供したいということで成立するものなのですか。それとも、他薦もあるのですか。
文化・交流課長	自薦も当然ありますが、サポーターの方々がこういった場所があるという情報を寄せていただいて、その情報に基づいてコンタクトをします。最終的には家主さんの承諾がなければできませんけれども。また、全て無料ということではなく、家主さんの意向で有料の場合もあります。有料・無料といったものを情報収集し、それを審査して問題がなければマップに載せていきます。
委員	アーティストについては、ご本人が自分を登録したいということが中心ですか。
文化・交流課長	そうですね。
委員	他薦ではなく。
事務局	他薦はほとんどないです。
委員	他薦はなくて自薦だけ・・・ということなのですね。
委員	そうすると、例えばスペースを持っている方が、杉並在住の作家さんで

	<p>なくてもご自分のコレクションとか、何かそういうものも見てもらいたいというような形でコンタクトすることはできないわけですね。場所も杉並で、アーティストも杉並と。</p>
文化・交流課長	<p>この協働提案の事業として展開する際の対象としては、杉並区内在住、在勤、在学、杉並出身等、杉並にゆかりのある方であれば良いのです。「アートウォーク」を実施するときの作品というのは、何かしら制約があるかもしれませんが、それ以外は、ご自身の部分として、区外の方であっても使っていただければと思います。</p>
委員	<p>私は、何回か会議に参加させていただいたところなのですが、1つは、たくさんの応募してくれている方々が、縦横につながり始めているということ、情報が行ったり来たりし始めたことが非常に良かったと思っています。助成事業等、どうしても大きなホールだけが会場として利用されていますが、今サポーターの人達によってこんな場所がある、という情報がたくさん出て、シャッターが閉まっていたところが開いていくことに繋がる、という動きは確かにあると思います。3点目は「アート」ですが、実際に会に来ている方はバンドをやっているミュージシャンや、全杉並にはゆかりはないけれども、友達がいるので友達がやる時には手伝いたいというような、他の区域からの参加など、「アーティスト」の人達が少し関心を持ち始めているというのが、TFFさんのメーリングから少しうかがい知れます。立ち上げの成果はあるのかなと見ております。</p>
会長	<p>まだ途中段階なのでしょうけれども、アーティストさんとかサポーターさんの年代、世代はどうですか。</p>
事務局	<p>これからデータベース化していくので、実際に今どれくらいの方が登録してくださっているかというのは、まだ押さえてはいません。実際に昨日もミーティングがあったのですが、参加してくださっている方は、若い方からお年寄りの方まで千差万別です。</p>
委員	<p>最初に集まれた30名近い方というのは、どういう方々が多いのですか。</p>
文化・交流課長	<p>今現在、登録しているアーティストは30名です。最初の説明会では80名程の方が参加されました。その時はアーティストの方が30名程度、ギャラリーの方が30名程度でした。</p>
委員	<p>そのアーティストは、音楽関係の方ですか。</p>
事務局	<p>いいえ。実際にご自身で何か創作したり、絵を描かれたりする方です。音楽をやられている方は、当初はいらした記憶はありませんが、現在はいらしているかもしれません。</p>
委員	<p>絵を描いている方はどうですか。</p>

事務局	はい。実際に立体的なものを制作されている方ですとか、制作に携わっている方々がいらしていました。プロ・アマ問わずお集まりいただいていますので、自称アーティストでも良いという扱いもしております。自分で創作活動好きな人、あるいは本当にプロとして、それで生業とされている方、いろんな方がいらしています。
委員	「表現」の方も結構多くて、田んぼでダンスをした経験があるアーティストの人と、その周りの景色の融合みたいなものの演出家をやっている友達など。文化のおもしろさというのは、ある意味、広いので、現段階は何でもありというような部分もあるので、それが精査されていくのかなという気はしています。
会長	この協働提案事業という仕組みについての注目、話題になっているということはあるのですか。区がかかわっていらっしゃるということについて、何か評価や視察はありますか。
文化・交流課長	今のところ聞いてはいません。登録をする方にとっては、区がかかわっているという部分の安心感はあるのではないかと、推測しますが。
会長	同じ 23 区や、東京都内の自治体の中での注目は、特に聞いていらっしゃらないですか。ほかではあまり聞かない事業だと思うのですが。
事務局	豊島区が非常に大きなことをやっているの、現在はまだ皆さん様子見という感じだと思います。
会長	なるほど。ありがとうございました。 ほかにはよろしいでしょうか。
	3 その他
会長	それでは次の議題にまいります。3 番その他についてご説明をお願いします。
文化・交流課長	<p>先の第 2 回定例会で、文化芸術スポーツに関する特別委員会というのがございました。その中で議員の方から、「杉並区の文化芸術に関する事業は、文化・交流課だけではなく、生涯学習や、区民センターでの催しなど、色々も行われているけれども、こういったものを文化・交流課で網羅して、計画的に実施したり、条例を制定してはどうか」というご意見をいただいております。</p> <p>杉並区としましては、添付資料にありますように、総合計画・実行計画の中で、施策 6 として「魅力的でにぎわいのある多心型のまちづくり」として定めております。これに呼応して、魅力的なまちづくりにつながるようなテーマを定め、助成金の企画提案事業を募集し、実施しております。また、施策 30 では「文化・芸術の振興」として、現状と課題、平成 33 年度の目標値を掲げて、具体的に取り組む事業を実施しております。</p> <p>ただ、その議員の方のおっしゃるとおり、様々なところで事業が展開されているのは事実です。それを網羅する必要性、網羅して、区が中心となって方針を示して文化芸術活動を実施していくべきなのかどうかというの</p>

	<p>は色々のご意見があるものと思います。私どもとしましては、この総合計画・実行計画に基づいた事業を進めているところですので、今後審議会でもご意見をいただければと思っております。</p>
会長	<p>議会でそういう議論があった、要望があったということですね。</p>
文化・交流課長	<p>ご質問ですね。例えば豊島区ですと、条例により、かなり大きな目標を立てて、区を挙げて「文化芸術のまち」を標榜しております。杉並区でも全体的な方針を示してはどうかというようなご質問があったということです。今後審議会の中で、色々のご意見を伺いながら考えていきたいという答弁をさせていただいておりますので、どういった方向がいいのか、ご意見があれば、参考にさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>ある程度議論した方がいいということですか。</p>
文化・交流課長	<p>もしご意見があればお願いいたします。</p> <p>杉並区文化協会の解散後、平成24年に審議会ができ、最初に私どもから諮問させていただいたのが、新たな助成制度でした。その答申を受けて、この間、新たな助成制度を実施しております。今後、どのようなことを諮問させていただくかを考えていかなくてはいけない中で、改めてご意見があればお伺いしたいと思っております。今、こういう考え方、こういう方向はどうかというご意見があれば、いただければと思っております。</p>
会長	<p>では、区としての施策として、こうあってほしい、こうしたらどうかというご意見が今あれば出していただいて、なければ改めてということになるかもしれません。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>3点ほどあるのですが、1つは全体の方向性については、区の総合計画というのがあって、それに基づいての実施でいいと思います。新たに条例や方針を掲げることによって、今実質的にそれぞれ湧き上がっているものが、逆に方向性を持つということがいいのだろうか、それが本当に実効性を持つだろうかというところがすごく問題なので、個々の施策について丁寧にやっていく、今杉並区が実施しているような方向性でいいのではないかとというのが、僕の個人的な意見です。</p> <p>ただし、審議会で審議したほうが良いのは、今冒頭に須磨委員がご指摘にあった、地域の色々な公民館の利用や、今の事業をどうやって杉並区全体に広げていくかということ、これはすごく重要で、審議会の検討事項になるのではないかと思います。これには助成制度を利用するという形もありますし、公民館や何かの活用方法についてもう少し調査・研究して、新しい事業を考えていくなどがあるかと思えます。</p> <p>もう1点は、情報発信をまとめて行えないだろうか、むしろそのほうが重要だと思います。いろんなことをやっているのだけれども、そのことがうまく伝わっていない。ただ、これも何か大きな、ウェブサイトをつくるのではなくて、どうやってそのネットワークで回せるかという点は、やはり一度審議会の議題としての議論は必要かなと思います。</p>

	以上3点ほどそんな感想を持ちました。
会長	ありがとうございました。
委員	私も情報発信の中で、例えば杉並区ホームページにアクセスした場合、文化がどのように区の中で取り上げられているか、ということが一目瞭然にわかるようにしたほうが良いと思います。文化振興のために助成金をつぎ込んでいのに、全然そういうものが見えてこない。もったいないと思うので、区の文化支援と区内の文化活動の統一性は分るようにする必要があります。感じています。
委員	今会場問題でガタガタしていますが、区として2020年に向けて独自の文化プログラムを組んでいく考えをお持ちなのかということと、もし持っているとしたら、こういう問題はそれと連動させて、そのほうがより一層定着しやすいし、区民の皆さんの中にも素直に入っていきやすいでしょうからね。その辺はどうなのですか。
文化・交流課長	オリンピック・パラリンピックの文化プログラムについては、ちょうど文化庁からその方向性が出ました。今年度はどういった方向で実施していくかというものを検討する期間、来年度から具体的な文化プログラムの方針を決めて、全国に広めていくという方針が出されております。その方針に沿った形で杉並区が実施することになりますし、文化庁だけではなく、組織委員会でも同じように文化プログラムのものが出てきます。杉並区として今現在実施している事業でよりブラッシュアップできるようなもの、また、新たにやらなければいけないものなど、その方針を見て、これから決めていきたいなと思っておりませんが、まだ具体的な内容が出ていないという状況です。区としてオリンピック・パラリンピックに向けた取り組みは、今後それが出てきてから、それを踏まえて考えていきたいと思っております。
会長	ほかにいかがでしょうか。
委員	例えば「アートウォーク」では、JRの駅にこういうことをやっていますよというポスター張り出しなどはしていらっしゃるのですか。
文化・交流課長	11月に実施をするので、その発信方法はまだ決めてはいません。協働提案の相手方であるNPOとも相談して、どういう周知方法を取っていくか、今のご質問のようにJRの協力も考えております。
委員	まちおこしの一環にもなるので、例えば、「阿佐ヶ谷においで」とか「こう歩いて行くとこんな楽しい催しになっていますよ」など、区内だけの発信の力だと大きな動きにならないので、大勢が乗り降りする駅に大きく張っておく・・・それがきっかけで、ホームページに辿り着いたりする。そんな連携ができれば、効果的な発信ができるのではないかなと思います。
文化・交流課長	JRとは、交流自治体の物産展として、実際に「のもの」というのを今実施しています。また「座・高円寺」の関係で高円寺駅とも良好な関係を持っていますので、今委員からのご意見のような形で協力依頼はぜひやっ

	ていきたいと思っております。
委員	そうですね。スタンプもよく駅に置いてありますし、一緒に回ってもらうようにするといいかもしれませんね。
事務局	計画段階ですが、今協働のNPO法人TFFで、中央線の車両の広告を効果的に使おうと考えているところです。お金の問題があるのですが、そこがクリアできれば実施していくということで、産業振興センターと組んで一緒に動いています。もし実施されれば、10月の終わりから11月の上旬に中央線の車両の中に広告が打てるかと思えます。
会長	ほかに何か議論しておきたい、今ではなくても次回以降でも構わないのですが、お考え、アイデア、その他ございますか。いかがでしょうか。 では、今日は今までご指摘いただいたようなところにとどめて、次回以降ということで進めていければと思います。 それでは、次のご報告をお願いします。
文化・交流課長	その他として、2点目、平成28年度の文化芸術活動助成事業についてです。審議会で新たな助成制度についての諮問・答申を受けて、助成制度を実施し、3年が経ちました。その答申をいただいた中に、3年を目安にしてまた見直しをしていくということがありました。まず「企画提案事業」のテーマをどうしていくかですが、先ほどの実行計画・総合計画の中にもありますように、まちのにぎわいをつくっていきたくて考えておりますので、引き続き同様のテーマ性で募集していきたいと思っております。 また、この間「企画提案事業」だけではなく、助成金の審査方法の見直し等、幾つかの課題が事務局で出ておりますので、審査手続、申請手続の簡素化ができないだろうかと考えております。 それから「大会参加型」というのは新たな助成制度の中に組み入れた助成を実施してきましたが、この「大会参加型」は、その大会が実施される段階で申請を受け付けます。早い時期の大会の参加者順に審査・交付をするので、予算がなくなると終わってしまいます。大会参加が遅い人は受け取れないという状況になりますので、審査方法、募集方法に少し検討を加えていく必要があると考えております。 この助成制度についてはいくつかの課題も見えてきているところです。部会で今、助成金の審査を行っていただいておりますが、それに並行してまず部会で議論をしていただき、次年度以降の助成金の課題について見直しを進めていきたいと考えています。
会長	これも目安は3か年ですか。
文化・交流課長	そうですね。基本的には3年実施し、また見直しをしていく。ただ、小さな見直しは、この間事務局サイドで行ってきましたが、この3年間の総括的な見直しということ部会で一度ご検討いただいた後、審議会にお諮りして、変更していくという方法をとりたいと思っております。
会長	見直しとしては、部会を何回ぐらい開催する予定ですか。1回で済むの

	か、2回ぐらいなのか。
文化・交流課長	それほど大きな制度変更ではないので、2回程度を考えています。事務局で課題は挙げてありますので、それについてご意見をいただき、新たなより良い助成制度にしていきたいと思えます。
会長	来年度以降の助成事業の考え方を、向こう3か年をめぐりに新しくしていく。それを部会で検討させていただくということのご提案ですが、よろしいでしょうか。では、この件はそのように進めます。 ほかにありますでしょうか。
文化・交流課長	最後になります。参考でチラシを配布しておりますが、区民ギャラリーの企画展「ラビンドラ・ダンクスの世界展」です。今回、有名な、イギリス人のアーティストの方が杉並区在住ということで、子どもたちに展示を見てもらいたいとの協力の申し出があり実施できることになりました。8月18日から31日まで、区役所2階の区民ギャラリーで実施をしますので、もし区役所にいらっしゃることがありましたら、是非ご覧いただければなと思っております。
会長	これは是非見ていただければということですね。 では、以上で終了ということでよろしいでしょうか。何か委員の方からご意見、その他ございますか。 では、以上で予定されていた議事は終了いたしましたので、これで閉会させていただきます。どうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。
	— 閉会 —

平成 27 年 7 月 23 日
西棟 6 階第 5・6 会議室
午後 6 時～

平成 27 年度 第 1 回 杉並区文化・芸術振興審議会 次第

- 1 開会

- 2 報告事項
 - (1) 助成事業について
 - ・ 平成 26 年度 助成事業の結果
 - ・ 平成 27 年度（第 1 次） 助成の状況

 - (2) 杉並ゆかりの文化人～アーカイブ映像集について

 - (3) 協働提案事業について

- 3 その他

【配布資料】

- 資料 1 : 杉並区文化・芸術振興審議会 委員名簿
- 資料 2 : 平成 27 年度 第 1 回杉並区文化・芸術振興審議会 席次表
- 資料 3-1 : 杉並区文化芸術活動助成事業について
- 資料 3-2 : 平成 26 年度 文化芸術活動助成金一覧
- 資料 3-3 : 平成 27 年度（第 1 次） 文化芸術活動助成金一覧
- 資料 4 : 杉並ゆかりの文化人～アーカイブ映像集について
- 資料 5 : すぎなみ戦略的アートプロジェクト「suginami Art@heArt」
事業概要

参考資料 : 「総合計画・実行計画」より抜粋
「ラビンドラ・ダンクスの世界展」チラシ

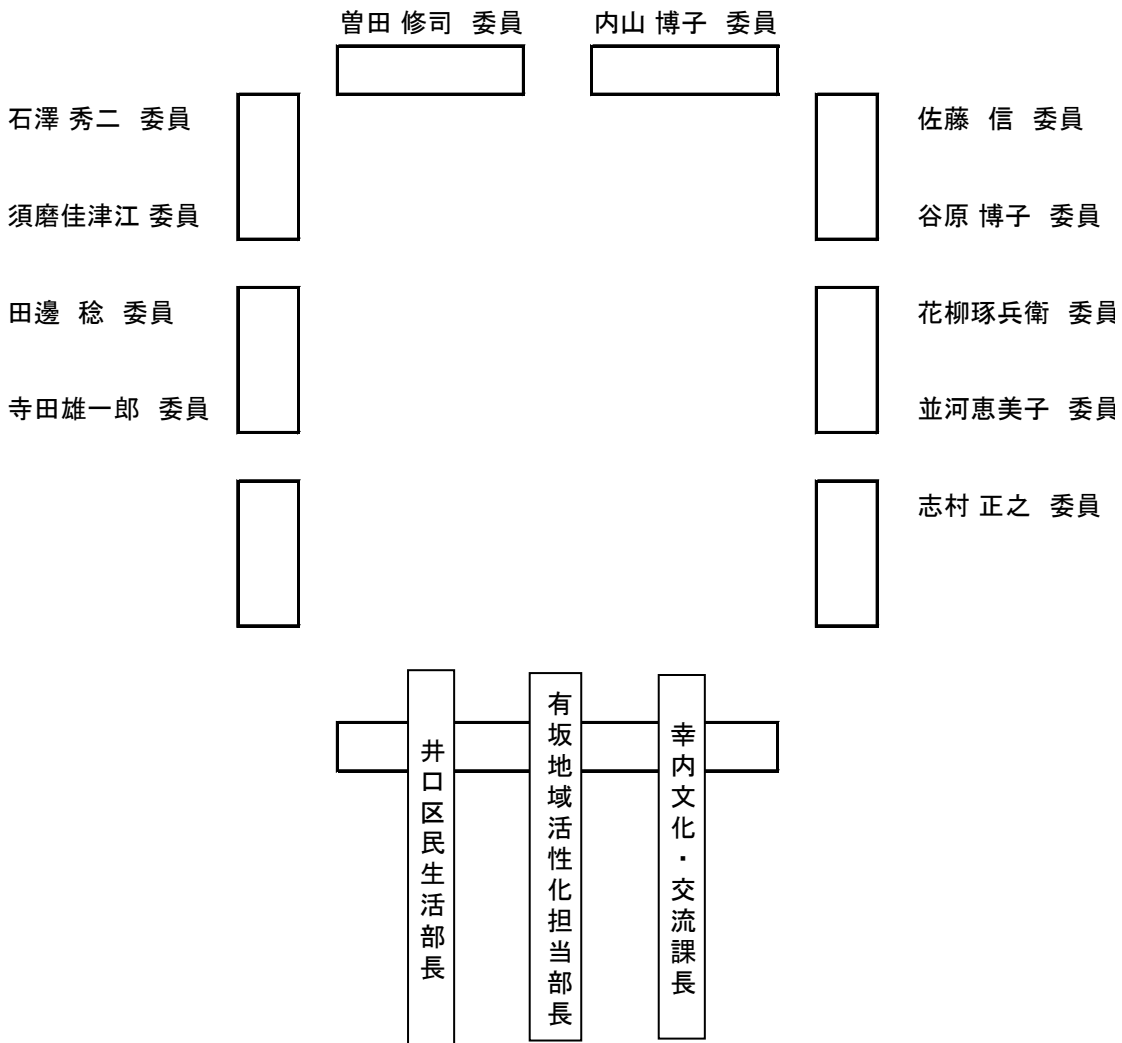
杉並区文化・芸術振興審議会委員名簿

(敬称略)

No.		氏名	所属等	備考
1	文化・芸術活動関係者	いしざわ しゅうじ 石澤 秀二	演劇評論家	
2		てらだ ゆういちろう 寺田 雄一郎	PFI杉並公会堂株式会社 取締役	
3		さとう まこと 佐藤 信	演出家、杉並芸術会館(座・高円寺)芸術監督	
4		たなべ のりこ 田邊 稔	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 理事・相談役	
5		なみかわ えみこ 並河 恵美子	NPO法人芸術資源開発機構 代表	
6		はなやぎ たくべい 花柳 琢兵衛	杉並区文化団体連合会 会長	
7	学識経験者	うちやま ひろこ 内山 博子	女子美術大学芸術学部 教授	
8		そた しゅうじ 曾田 修司	跡見学園女子大学マネジメント学部 教授	
9	その他区長が適当と認める者	しむら まさゆき 志村 正之	東京商工会議所杉並支部 副会長	
10		すま かつえ 須磨 佳津江	キャスター	
11		たにはら ひろこ 谷原 博子	学校・地域コーディネーター	

資料2

第1回杉並区文化・芸術振興審議会席次表



杉並区文化芸術活動助成事業について

1 26 年度 杉並区文化芸術活動助成事業

(1) 助成件数

計 22 件 (前年度 18 件)

- ① 文化・芸術活動 19 件 (15 件)
- ② 企画提案事業 1 件 (1 件)
- ③ 大会参加 2 件 (2 件)

(2) 助成金額 8,456,000 円 (前年度 8,030,000 円)

資料 3-2

2 27 年度 第 1 次杉並区文化芸術活動助成事業

(1) 助成件数

計 13 件

- ④ 文化・芸術活動 12 件
- ⑤ 企画提案事業 1 件
- ⑥ 大会参加 0 件

(2) 助成金額 6,770,000 円

資料 3-3

(3) 第 2 次募集

・文化芸術活動助成事業 (平成 27 年 10 月～翌 3 月実施事業) 5 事業程度
予定助成金額

・上限 100 万円 計 250 万円 (予定)

募集期間

・文化芸術活動助成事業

平成 27 年 7 月 21 日 (火) ～平成 27 年 8 月 20 日 (木) (必着)

(4) スケジュール

8 月下旬～9 月 : 部会による審査・決定

10 月～翌 3 月 : 各助成事業現地確認

資料3-2

平成26年度 杉並区文化芸術活動助成金一覧

区分	分野	事業名	団体名・個人名	助成申請額 (限度額)	助成金交付 決定額	助成金交付 確定額
文化・芸術活動	音楽	モーツァルト「レクイエム」(レヴィン版)トラエッタ「スタバト・マーテル」(ミュンヘン版)演奏会	杉並オラトリオ合唱団	¥1,000,000	¥600,000	¥600,000
	音楽	武蔵台ウインドオーケストラ 第29回定期演奏会	武蔵台ウインドオーケストラ	¥610,000	¥200,000	¥200,000
	美術	トロールの森野外アート展2014	トロールの森実行委員会	¥1,000,000	¥600,000	¥600,000
	古典	夏休み狂言教室	NPO法人 杉並で能楽を楽しむ会	¥600,000	¥600,000	¥600,000
	美術	阿佐谷アートフォレスト2014	ほほえみの森実行委員会	¥1,000,000	¥500,000	¥430,000
	朗読劇	杉並物語4 うたた・うたかた	杉並シナリオワークショップ	¥350,000	¥350,000	¥320,000
	演劇	第12回杉並演劇祭	杉並演劇祭実行委員会	¥1,000,000	¥400,000	¥400,000
	音楽	さざんかシティウインズ コンサート2014	さざんかシティウインズ	¥1,000,000	¥400,000	¥400,000
	美術	阿佐ヶ谷アートストリート 2015	阿佐ヶ谷アートストリート 実行委員会	¥1,000,000	¥400,000	¥400,000
	音楽	テングリという青空 ～中央ユーラシアの伝統と幻想～	MAKIGAMI OFFICE TOKYO	¥800,000	¥200,000	¥200,000
	音楽	辰巳哲也ビッグバンド Meets Eero Koivistoinen	辰巳哲也ビッグバンド	¥230,000	¥200,000	¥200,000
	アニメ	阿佐ヶ谷漫画クロニクル	斎藤新次郎	¥1,000,000	¥200,000	¥200,000
	落語	第12回阿佐ヶ谷寄席	阿佐ヶ谷寄席実行委員会	¥950,000	¥200,000	¥200,000
	その他	わくわく☆どきどき!文化体験2014 ～ふれあいこどもまつり in すぎなみ～	NPO法人 子ども文化NPO M・A・T	¥930,000	¥200,000	¥200,000
	音楽	阿佐谷 ジャズストリート 2014	阿佐谷ジャズストリート 実行委員会	¥1,000,000	¥1,000,000	¥1,000,000
	舞踏	小松原庸子スペイン舞踊団創立45年記念 プレ・オープン フラメンコ 粋と情熱 -その真髄を杉並に-	(株)ソル・デ・エスパーニャ	¥1,000,000	¥650,000	¥550,000
	音楽	ダンス01新作公演 「デットマンズホワイト」	(有)ダンス01	¥430,000	¥350,000	¥350,000
	音楽	朗読と和太鼓による 第11回soulstoryダンス公演「水鏡の月」	soulstory	¥1,000,000	¥250,000	¥250,000
	舞踏	竹夢物語～第五章～	ハート・トゥ・アート実行委員会	¥1,000,000	¥250,000	¥250,000
提企画	その他 アートドロップス西荻to善福寺	ラジオ善北こどもネットワーク (ラジオぱちぱち)	¥1,500,000	¥1,000,000	¥1,000,000	
大会		2014 FISM ASIA Championship in KOREA	個人	¥100,000	¥100,000	¥68,000
		第16回 シヨパン国際ピアノコンクール in Asia	個人	¥38,000	¥38,000	¥38,000
合 計				¥17,538,000	¥8,688,000	¥8,456,000



平成27年度 杉並区文化芸術活動助成金 第1次助成事業スケジュール

分野	事業名	団体名	日程	場所
音楽	もう一度聴きたい 歌いたい 第4回心のふるさと杉並「童謡・唱歌」まつり	NPO杉並文化村	平成27年4月26日(日)	杉並公会堂大ホール
音楽	第12回定期演奏会	杉並ウインドハーモニーアンサンブル	平成27年4月26日(日) 16時～	セシオン杉並ホール
音楽	杉並オラトリオ合唱団創立10周年記念 ハイドン作曲 オラトリオ「四季」演奏会	杉並オラトリオ合唱団	平成27年6月28日(日) 14時～	杉並公会堂大ホール
演劇	サインアートプロジェクト.アジアン創立10周年 「残夏-1945」	サイン アート プロジェクトアジアン	平成27年7月9日(木)～12日(土)	座・高円寺2
音楽	児童合唱指揮者の会「杉並会議」2015合同演奏会	杉並児童合唱団	平成27年8月2日(日) 15時～	杉並公会堂
古典	能ってな～に	NPO法人 杉並で能楽を楽しむ会	平成27年8月24日(月)～26日(水) 10時～12時	区立高井戸小学校
オペラ	5MwithH第4回オペラ公演 「魔笛～被告人モノスタスの最終弁論～」	5MwithH	平成27年9月26日(土)17時～ (プレコンサート15時～)	杉並公会堂小ホール
マジック	みんなで楽しむマジックショー第15回	杉並マジッククラブ	平成27年10月24日(土) 14時～	座・高円寺2(予定)
企画	トロールの森2015 ～まちと森をつなぐかたち～	トロールの森実行委員会	平成27年11月1日(日)～23日(月祝)	西荻窪駅～善福寺公園
古典	西荻薪能2015	NPO法人 西荻まちメディア西荻薪能部会	平成27年11月3日(火・祝) 19時～	井草八幡宮・神楽殿及びその周辺
音楽	辰巳哲也ビッグバンド Meets Mats Holmquist	辰巳哲也ビッグバンド	平成27年11月5日(木)	座・高円寺2
音楽	杉並フィルハーモニー管弦楽団 第20回定期演奏会	杉並フィルハーモニー管弦楽団	平成27年11月15日(日)	杉並公会堂大ホール
舞踏	大人も子どもも楽しめる舞台 「フライング シュワシュワ カーニバル」	to R mansion	平成28年3月26日(土)～27日(日)	座・高円寺2

資料 4

杉並ゆかりの文化人～アーカイブ映像集

1 事業目的

杉並区にゆかりのある文化人・芸術家に焦点をあて、その人となり、文化芸術活動の足跡や自分の作品にかける思い、後世に伝えていきたいメッセージ、杉並のまちとの関りなどを映像にまとめ、杉並区の貴重な文化財産として保存するとともに、区内外に文化芸術の魅力、杉並区の文化的な魅力を効果的に伝えることができる発信力の高い映像作品を制作する。

2 平成 25、26 年度実績

(1) 映像作品出演者 (5 名)

- Vol.1 洋画家 佐野ぬいさん
- Vol.2 木彫家 橋本堅太郎さん
- Vol.3 染織家 佐々木苑子さん
- Vol.4 スペイン舞踊家 小松原庸子さん
- Vol.5 詩人・小説家 ねじめ正一さん

(2) 27 年度出演者

- ①クラシックギター演奏者 莊村清志さん
- ②アニメ監督 大地丙太郎さん
- ③女優 渡辺美佐子さん

(3) 制作映像コンテンツ

- ①短編作品 (15 分) …長編作品のダイジェスト版
- ②長編作品 (45 分程度) …インタビューを中心に半生と作品などを記録
- ③特典映像 (1 分) …平成 26 年度の映像作品の宣伝映像
- ④文化人ゆかりの杉並マップ…文化人にゆかりのある杉並の場所を地図にまとめたもの

(4) 制作委託先

- ①株式会社 文化工房 東京都港区六本木 5-10-31
選定委員会を設置し公募型プロポーザルにより選定

平成 25 年度

委託費：4,651,500 円

平成 26 年度

委託費：6,998,400 円

平成 27 年度

委託費：7,128,000 円

27 年度の主な変更点

- ・長編作品「語る」を 45 分以内とし、学校の授業時間内に収めることで教材として活用しやすいよう変更。
- ・別契約となっていた MX テレビ用データ変換作業（129,600 円）を仕様書に追加し 1 つの契約とした。

(5) 保存・発信

- ①区内全小中学校に配布し、授業等での活用を依頼
- ②区内全図書館、文化・交流課にて一般貸出
- ③区公式ホームページトップ下にバナーを設置し、紹介映像、それぞれの短編版、ゆかりの杉並マップを I T コンテンツとして発信
- ④国立国会図書館、都立中央図書館に寄贈。資料として保存活用を依頼
- ⑤女子美術大学の佐野さんトークイベントで短編版映像上映
- ⑥女子美術大学、小平市平櫛田中彫刻美術館に寄贈
- ⑦ J-COM すぎなみニュースで紹介映像の発信と貸出の宣伝
- ⑧紹介チラシを制作し、区民センターなど 24 箇所程配架
- ⑨区広報紙及び文化・芸術情報紙「コミュかる」にて紹介記事を掲載
- ⑩MX テレビで放送（5 月、8 月、11 月）
- ⑪杉七小学校での土曜授業に活用（ねじめさん）
- ⑫群馬県立近代美術館「佐々木苑子展」で上映
- ⑬杉並文化村主催「フラメンコ・神秘と情熱」で上映（小松原さん）